

教育勅語を読む

●【人生は「縁」の積み重ね】

4月と言えば、入学式、入社式、新学期、お花見、桜、椿、富山は特にチューリップ。そして早いところではゴールデンウィークですかね。いずれにしても、「春」というのは、本心に心が晴れやかになる清々しい気持ちになる季節です。

谷川家では、長男（寛晟Ⅱかんせい）も、いよいよ小学一年生です。皆さまに見守られながら、沢山の「縁」に支えられて、今日を迎えることができたことに感謝の気持ちで一杯になります。

人生は人と物や出来事など、様々な出会いによって形作られていきます。家族の「縁」に始まり、関わり合う人間関係の「縁」。同級生との「縁」。職場での「縁」があります。仏教には「悪縁」という言葉はありません。「縁」はただ単純に「縁」があるだけと捉えます。その「縁」を「良縁」にするも「悪縁」にするも、自分次第というところがあります。時の流れの中で、過去が現在をつくり、現在によって未来はつづられます。縁には「めぐりあわせ」・「人と人とのかわりあい」・「関係を作るきっかけ」・「血縁、家族

的なつながり」などの意味があります。互いに引き寄せ合う見えない力に畏敬の念を深めながらも、全ての「縁」を良い出会いとして受け止められる自分でありたいと思います。今月から新たな一歩を踏み出す新入生・新入社員、そしてご縁の有る皆さまにとって、素晴らしい出会い、より良い一歩を踏み出せるように祈りたいと思います。

●【メディア情報に翻弄されてはいけない】

さて、今年の2月9日「学校法人森友学園」が大府豊中市に建設している私立小学校の土地が鑑定価格より8億円以上安い価格で購入されていた事が判明し、安倍晋三首相夫人・昭恵氏が、森友学園が経営する「塚本幼稚園」で講演を行った経験がある事や、私立小学校の名誉校長就任が予定されていた事などから、大きな波紋を呼んだ一件は記憶に新しいところです。日本政府が森友学園に対し土地を安価で売却した疑惑があり、さらに塚本幼稚園が思想的に偏向した教育を行われているなどの事から、各メディアが今回の騒動に対し批判的な意見を寄せ、国会では各野党が安倍首相に対して質問攻めを連日のように繰り広げました。連日の報道を見聞していて、私は腑に落ちない何かを感じていました。と言うのも、当園の教育方針や経営方針の疑問やマズさの指摘も去る事ながら、一連

の報道は「安倍政権が不正を働いた」という印象操作をメディアが行っているかの如くに感じてしまいました。いわゆる情報戦争と言われる時代の、情報操作です。この件に関して読者の皆さまも賛否両論あると思いますし、当欄では、それらの真相を究明しようとは思いません。ただ、私が塚本幼稚園の教育で注目したい点は「教育勅語（きょういくご）という事実です。

●【教育勅語とは】

「廃止された戦前の教育に戻すな」・「軍国主義の思想」などと危険視される【教育勅語】という言葉ですが、そもそも何を記されているのでしょうか？私を含めた戦後生まれの人間には馴染みの薄い言葉ですが、それだけにシッカリと意味内容を踏まえておきたいと思っています。

そもそも【教育勅語】というのは、正式には《教育に関する勅語》の事を言います。『勅語』とは、口頭による天皇陛下の御言葉ということです。また『勅語』は法律的性質を持たないのが原則とされていますが、【教育勅語】に関しては、天皇陛下の私的な道德訓にとどまらず、教育一般の基本方針とされたので、実際には法的な効力を持ちました。

明治天皇の名のもとに、明治三十三年（1890年）十月三十日に発表さ

れ、教育の根本を皇祖祖宗の遺訓に求め、忠孝の徳を国民教育の中心に据えられました。日本の教育の基本方針を示した明治天皇の勅語は、第2次世界大戦（太平洋戦争）前の、日本人の精神的支柱として、健全な日本国民の精神を育みました。しかし、敗戦後の昭和二十三年（1948年）、GHQ（連合国軍総司令部）統治下のもと、強制的に【教育勅語】の失効および排除を決議されたのでした。

現在では帝国時代の象徴というイメージがある教育勅語ですが、実際の内容は「広く全ての人に慈愛の手を差し伸べましょう」・「両親に孝養を尽くし、友人を信じ助け合ひましょう」等々。戦争とは正反対の思想であり、むしろ平和・博愛主義的な内容で、現代の義務教育に是非とも取り入れて頂きたいとすら思っています。

【教育勅語】に示されている十二の道德的徳目は左記の通りです。

- (1) 親に孝養をつくしましう（孝行）
- (2) 兄弟・姉妹は仲良くしましう（友愛）
- (3) 夫婦はいつも仲むつまじくしましう（夫婦の和）
- (4) 友だちはお互いに信じあつて付き合ひましう（朋友の信）

(5) 自分の言動をつつしみましょう
(謙遜)

(6) 広く全ての人に愛の手をさし
べましょう (博愛)

(7) 勉学に励み職業を身につけ
ましょう (修業習学)

(8) 知識を養い才能を伸ばしま
しょう (知能啓発)

(9) 人格の向上につとめましょう
(徳器成就)

(10) 広く世の人々や社会のため
なる仕事に励みましょう

(11) 法律や規則を守り社会の秩序に
従いましょう (遵法)

(12) 新しい勇気をもって国のため
真心を尽くしましょう (義勇)

以上記載した通りですが、何か問
題のある教えが含まれていました
か？むしろ現代を生きる私達大人を
はじめ、子供達に至るまで、日本人
として、いや人間として大切にしな
ければならない基本理念と言って良
いものばかりではないでしょうか？

●【戦後自虐史観からの脱却】

日本の学校では、「日の丸」の国旗
を掲揚したり、「君が代」の国歌斉唱
する機会が非常に限られています。
これも第2次世界大戦(太平洋戦争)
後、GHQ指導の影響によって日本
の国旗・国歌が軍国主義と結び付け

られたこと、「日教組(日本教職員組
合)」という左派色の強い組織が教育機
関に大きな影響を及ぼしていることは
否めません。

一方、塚本幼稚園は日の丸掲揚や君
が代斉唱がひんぱんに実施され、児童
たちに天皇陛下の御存在意義や日本神
道を学ばせるなど、愛国主義的な教育
が実施されており、その点に関して私
は強く共感しました。日本には天皇を
精神的支柱とした二千年以上連綿と続
く歴史があります。私達国民が日本の
精神性を学ぶことは非常に意義のある
行為だと思います。

戦後來日した外国人はみんな判を押
したように異国同音に同じ事を口にし
ています。「日本人は礼儀正しく勤労意
欲が盛んで勉強もよくする。しかし、
あまりにも自分の国について知らな
ざる」と。なぜ知らないのでしょうか？
それは、教えられなかったからです。
日本人から【教育勅語】をはじめ、歴
史や地理という概念を奪い、プライド
を剥奪するというGHQの占領期以来
の流れが、顕著に表れています。私達
の祖先達が大切にしてきた思想や、歴
史を取り扱うことすらタブーとされ、
国家や愛国心という発想を子供達から
悉く取り去りました。悲しいかな、ま
さに蚕食(さんしょく)されたという
表現がピッタリです。人の「まごころ」
は売り物ではありません。自然に滲み
出るものです。そこを見抜く力がない

と、世の中は荒廃してします

戦後、GHQが日本を占領していた
時期に、日本人の思考が歪むような洗
脳プログラムを実行されました。「ウオ
ー・ギルト・インフォメーション・プ
ログラム(WGIP)」がそれです。ア
メリカはこのプログラムによって、日
本人に先の戦争への罪悪感を植え付け
て、愛国心や、家族愛、正義、道徳心
といった日本人が大切にしてきた美德
を奪い去りました。洗脳させられてし
まった日本では、昔の日本は悪い国だ
ったと信じきってしまったっています。国
に誇りを持たない。先祖にも誇りを持
てない。自分にも誇りを持たなくなり
ます。愛国心には罪悪感を覚えるし、
国防や軍人や国旗・国歌の大切さも理
解できず、日本人であることの誇りも
持てず、自己中心的な人生を肯定する
人間になってしまします。WGIPを
理解しないで戦後の日本は理解できな
いと思います。

今後、日本の教育界がGHQの影響
による自虐的な風潮から脱却すること
を期待すると共に、その為には私達大
人がシッカリしなければなりません。
夢膨らませ、希望を抱いた子供達が、
真っ直ぐ成長していけるように。この
素晴らしい日本に生まれた事に、日本
国民として誇りに思えるような精神教
育に邁進していききたいと思っています。

合掌 副住職 谷川寛敬

